

## 平成28年度社会福祉法人白日会事業報告

### I 総論

昨年は、2度にわたる熊本地震の影響により、行事等の計画を見直さざるを得ない状況になりました。決算に関わる監事監査等の承認は、5月末までの期限も、特例により1箇月延長されたことで、直後からしばらくの間地震対応に専念できました。

照古苑においては水道設備等に大きな被害を受けたことから、食事の提供も1週間程度は食器の洗浄も困難を来し、紙食器等による簡単な応急的食事を、また、便所の水洗が使用できないため、職員による人力での洗浄水運搬を余儀なくされました。

築後2年半の照古苑ひまわりホームにおいても、ひび割れやタイル剥落等の被害はありましたが、施設の機能的には支障はありませんでした。

平屋建てのたんぼ保育園は、施設的には大きな被害もなく、園児の通用門に被害があった程度でした。

ただ、心配されたのが、全ての復旧に目途が付いた頃、照古苑の敷地内を通る水路に重油漏れが確認されたことでした。丁度、田植え前の時期でしたので、田んぼの中に油が入らないように細心の注意を必要としましたが、早期の対応により関係者の方々にご迷惑をかけることなく、作業を終了することができました。

また、平成28年3月31日、社会福祉法の大幅な改正が行われました。これは、公益性・非営利性を確保する観点から制度を見直し、国民に対する説明責任を果たし、地域社会に貢献する法人のあり方を徹底するものであります。

経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取組を実施する責務などが求められ、今後、これらのことを一つひとつ実施してまいります。

経営面においては、幸いにも前年度並みの収益を確保することができました。これは、地震災害復旧工事に対する、日本財団及び国県からの助成を受けることができたことが大きな要因でした。平成29年度は、照古苑開設40周年の年であり、このことは次の新しい照古苑改築のステップとして、改築費用の計画的な確保を第一に進めていかなければならないものと考えます。

このような状況の中で、人手不足は介護分野においては深刻な問題となっています。介護職員の処遇改善は実施していますが、若年層の退職がなかなか止まらない状況にあります。また、看護等の医療職の確保も困難になってきています。退職後の補充までの期間に数ヶ月以上を要しており、他の職員への業務負担も長期にならざるを得ない状況にあります。今後は、職員の離職防止及びモチベーション向上を図る、更なる処遇改善施策が必要になりますが、改築費用の確保も進めなければならないといった問題に直面しています。

### II 法人本部

#### 1 社会福祉法人白日会の財産状況

別紙 財産目録及び決算報告書のとおり

## 2 事業

### (1) 監事の監査（平成27年度決算監査）

平成28年5月16日（月曜日）場所：照古苑応接室

### (2) 評議員選任・解任委員会

平成29年3月21日（火曜日）場所：照古苑応接室

### (3) 理事会及び評議員会の開催

#### ① 平成28年5月23日（月曜日）

議案第1号 平成27年度法人本部拠点区分及び照古苑拠点区分、ひまわりホーム拠点区分の事業報告について

議案第2号 平成27年度法人本部拠点区分及び照古苑拠点区分ひまわりホーム拠点区分の決算報告について

議案第3号 平成27年度たんぼぼ拠点区分の事業報告について

議案第4号 平成27年度たんぼぼ拠点区分の決算報告について

監事 監査報告

議案第5号 平成28年度照古苑拠点区分第1次資金収支補正予算について

議案第6号 平成28年度ひまわりホーム拠点区分第1次資金収支補正予算について

議案第7号 照古苑設備機器地震災害復旧工事に係る契約締結方法等について

議案第8号 照古苑建物地震災害復旧工事に係る契約締結方法等について

議案第9号 照古苑ひまわりホーム地震災害復旧工事に係る契約締結方法等について

議案第10号 照古苑非常勤職員就業規則の一部改正について

議案第11号 照古苑ひまわりホーム非常勤職員就業規則の一部改正について

議案第12号 たんぼぼ保育園非常勤職員就業規則の一部改正について

議案第13号 専決処分の報告について（照古苑非常勤職員給与規則の一部改正について）

#### ② 平成28年9月26日（月曜日）

議案第1号 専決処分の報告（平成28年度資金収支補正予算）

議案第2号 専決処分の報告（熊本地震災害による油漏洩対策工事）

報告事項 照古苑設備機器地震災害復旧工事に係る契約締結の報告について

照古苑建物地震災害復旧工事に係る契約締結の報告について

熊本地震災害による油漏洩対策工事に係る契約締結の報告について

照古苑ひまわりホーム建物地震災害復旧工事に係る契約締結の報告について

議案第3号 専決処分の報告（照古苑設備機器地震災害復旧工事に係る変更契約）

議案第4号 照古苑デイサービスセンター運営規程の一部改正について

議案第5号 照古苑ひまわりホームデイサービス運営規程の一部改正について

議案第 6 号 照古苑指定第 1 号通所事業（通所型サービス A）運営規程の制定について

議案第 7 号 照古苑指定第 1 号通所事業（通所型サービス C）運営規程の制定について

議案第 8 号 平成 28 年度照古苑拠点区分第 3 次資金収支補正予算について

議案第 9 号 平成 28 年度たんぽぽ拠点区分第 1 次資金収支補正予算について

③ 平成 28 年 12 月 26 日（月曜日）

議案第 1 号 照古苑組織規則の一部改正について

議案第 2 号 照古苑就業規則の一部改正について

議案第 3 号 照古苑ひまわりホーム就業規則の一部改正について

議案第 4 号 照古苑非常勤職員就業規則の一部改正について

議案第 5 号 照古苑ひまわりホーム非常勤職員就業規則の一部改正について

議案第 6 号 照古苑育児休業・介護休業等に関する規則の一部改正について

議案第 7 号 照古苑給与規則の一部改正について

議案第 8 号 照古苑非常勤職員給与規則の一部改正について

議案第 9 号 照古苑資格取得等支援規程の一部改正について

議案第 10 号 たんぽぽ保育園就業規則の一部改正について

議案第 11 号 たんぽぽ保育園非常勤職員就業規則の一部改正について

議案第 12 号 たんぽぽ保育園育児・介護休業等に関する規程の一部改正について

議案第 13 号 たんぽぽ保育園給与等支給規則の一部改正について

議案第 14 号 平成 28 年度たんぽぽ拠点区分第 2 次資金収支補正予算について

議案第 15 号 専決処分の報告（包括支援センター運営規程）について

議案第 16 号 専決処分の報告（包括支援センター介護予防支援事業運営規程）について

議案第 17 号 専決処分の報告（照古苑ひまわりホーム地震災害復旧工事変更契約）について

議案第 18 号 専決処分の報告（いきいき支援センター増築工事に係る契約締結方法等）について

議案第 19 号 専決処分の報告（いきいき支援センター増築工事に係る契約締結の報告）について

議案第 20 号 定款変更について

議案第 21 号 社会福祉法人白日会評議員選任・解任委員会運営規則の制定について

議案第 22 号 評議員選任・解任委員会の招集について

議案第 23 号 評議員選任・解任委員会（外部委員）の選任について

議案第 24 号 評議員選任・解任委員会（監事）の選任について

議案第 25 号 評議員選任・解任委員会（事務局）の選任について

議案第 26 号 評議員候補者の選定について

議案第 27 号 評議員候補者の選定について

- 議案第 28 号 評議員候補者の選定について
- 議案第 29 号 評議員候補者の選定について
- 議案第 30 号 評議員候補者の選定について
- 議案第 31 号 評議員候補者の選定について
- 議案第 32 号 評議員候補者の選定について

④ 平成 29 年 3 月 21 日（火曜日）

- 議案第 1 号 平成 28 年度法人本部拠点区分第 1 次資金収支補正予算について
- 議案第 2 号 平成 28 年度照古苑拠点区分第 4 次資金収支補正予算について
- 議案第 3 号 平成 28 年度ひまわりホーム拠点区分第 3 次資金収支補正予算について
- 議案第 4 号 平成 28 年度たんぼぼ拠点区分第 3 次資金収支補正予算
- 議案第 5 号 平成 29 年度法人本部事業計画について
- 議案第 6 号 平成 29 年度法人本部拠点区分資金収支予算について
- 議案第 7 号 平成 29 年度照古苑事業計画について
- 議案第 8 号 平成 29 年度照古苑拠点区分資金収支予算について
- 議案第 9 号 平成 29 年度ひまわりホーム拠点区分資金収支予算について
- 議案第 10 号 平成 29 年度たんぼぼ事業計画について
- 議案第 11 号 平成 29 年度たんぼぼ拠点区分資金収支予算について
- 議案第 12 号 社会福祉法人白日会評議員会運営規程の制定について
- 議案第 13 号 社会福祉法人白日会理事会運営規程の制定について
- 議案第 14 号 社会福祉法人白日会組織及び事務局規程の制定について
- 議案第 15 号 社会福祉法人白日会事務委任規則の一部改正について
- 議案第 16 号 社会福祉法人白日会経理規程の制定について
- 議案第 17 号 社会福祉法人白日会資金運用規程の制定について
- 議案第 18 号 社会福祉法人白日会役員等に対する報酬等に関する規程の制定について
- 議案第 19 号 照古苑ひまわりホームデイサービス運営規程の一部改正について
- 議案第 20 号 照古苑ひまわりホーム指定第 1 号通所事業（通所型サービス A）運営規程の制定について
- 議案第 21 号 照古苑宇土市介護予防・日常生活支援総合事業指定第 1 号通所事業（通所型サービス C）運営規程の一部改正について
- 議案第 22 号 社会福祉法人白日会苦情解決規程の制定について
- 議案第 23 号 土地の寄付採納について
- 議案第 24 号 土地の寄付採納について
- 議案第 25 号 第三者委員の選任について
- 議案第 26 号 第三者委員の選任について
- 議案第 27 号 施設長及び事務局長並びに資金運用責任者の任命について
- 議案第 28 号 社会福祉法人白日会理事の選任について

Ⅲ 特別養護老人ホーム

## 1 入退所関係

### 入所者の状況

入所者	平成27年3月末現在			平成28年3月末現在			平成29年3月末現在		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
人員	21	89	110	18	92	110	17	93	110
年齢	81.8	87.7	87.5	82.8	89.0	85.9	84.5	88.9	88.6
介護度	3.3	3.9	3.8	4.1	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1
在籍期間	3.7年	5.3年	5.0年	3.6年	7.0年	6.4年	3.8	4.4	4.1

### 入所前の居所

入所前居所	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	人数	平均年齢	平均介護度	人数	平均年齢	平均介護度	人数	平均年齢	平均介護度
在宅・有料老人ホーム	13	87.1	3.9	13	85.5	4.3	13	94.8	3.7
病院	4	78.5	4.3	2	86.0	5.0	3	90.3	3
介護保険施設	4	89.0	3.8	8	91.5	3.5	8	90.7	3.8
計	21	85.8	3.95	23	87.6	4.0	24	91.2	3.64

### 退所事由の状況

退所事由	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	人員	在籍年数	人員	在籍年数	人員	在籍年数
入院退所	3	1.0	6	2.4	5	2.2
入院死亡	5	7.8	6	3.7	2	5.5
在苑死亡	12	6.0	9	8.7	15	6.3
在宅、有料老人ホーム他	2	4.6	1	0.3	2	0.8
計	22	4.8	22	4.5	24	4.9

ケアプラン作成は、原則、長期目標期間を1年、短期目標期間を6か月として作成し、6か月ごとに見直しを行っています。

サービス担当者会議の開催は119件、前年度と比べ開催回数、家族の参加も横ばい状態です。ご家族の参加は、89件75.0%の参加率で、平成27年度と比較すると若干減少傾向にあります。ご家族の参加を促すために、入所時の説明とご家族の意向に沿った日程調整を行っています。定期の担当者会議だけでなく、看取り介護導入時における医師による説明や看取り施設計画書などの説明も十分行っています。

介護保険法が改正され、平成27年4月1日より、指定介護老人福祉施設は、居宅での生活が困難な中重度の要介護高齢者を支える施設としての機能に重点化を図ることとされ、原則「要介護3」以上が入所対象となっています。また、有料老人ホーム等が増えてきたこともあり、待機者数に減少がみられている状況です。特に早急の入所希望者は減っており、先々の入所を希望する方が増えている状況の中で2か月に1回の定期入所検討会議の開催は、事前の調査に時間を要しています。平成28年度の入所調整期間は熊本地震の影響もあり平均10.1日を要し、平成27年度と比較して2.9日程、期間を要しております。今後も入所までの期間が短縮できるように関係機関との協議を図っていきます。

一方、要介護1又は2であっても、やむを得ない事情により居宅での生活が著しく困難であると認められる場合には、市町村の適切な関与の下、施設ごとに設置している入所検討委員会における検討を経て、特例的に施設への入所が認められ、該当されない要介護1.2の方については一般入所申込みとして受け付けを行い待機していただくことといたしました。

また、従来の特例入所については、これまでどおり次のいずれかに該当する場合には限られています。

- ① 老人福祉法第11条第1項第2号による場合
- ② 指定介護老人福祉施設基準第19条による入院をしていた場合に、予定よりも早期に再入所が可能になって、苑が満床であるとき
- ③ 近く、苑への入所が見込まれる者が、その家族の急遽入院により在宅生活が困難となった場合に、苑が満床であるとき

2 利用者の生活能力維持回復のための機能訓練は、医師、理学療法士の指導により、ケアプランに組み込まれた各自の目標を達成するよう、プログラムを設定し、専任の作業療法士、看護師を配置し、効果的な訓練を行っています。

3 利用者の嗜好を把握する一方、健康検査に基づく身体状況に応じた栄養マネジメントのもとで作られた各自の献立により、適切な栄養量が満たされ、食べ慣れた地産の食材を各自の食餌状態に応じた平常食、刻み食、飲食と食べやすく調理した食事を提供することができました。これからも、管理栄養士のもとで各自の状態にこまめに応じた食事を提供することに努めます。

#### 4 安全対策

平成28年度の安全対策委員会の目標として、「自分達が直接関わる事故を減らす」「事故件数の多い事故の検討をする」とし、同時に「入所者様の突発的な動きにより起こる事故も減少できるように検討していく」こととしました。

外傷項目に表皮剥離も含まれており、事故件数も横ばい状態にあるため、再度「自分達が直接関わる事故を減らす」「事故件数の多い事故の検討をする」の目標の周知徹底を行うこととしました。

また、インシデントの報告が年々多く報告されております。これは職員全員で未然に事故を防止するとの意識が高まっていると思われまます。

事故件数

事 故	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
転 倒	66	27	51	13
転 落	20	43	31	38
骨 折	(2)	(4)	(1)	0
外 傷	46	53	60	75
薬関係	36	26	22	72
食事関係	4	8	11	15
離 設	2	0	3	0
医療関係	1	8	8	10
インシデント	20	31	44	115
その他	37	38	41	20
市町村関係	0	4	0	2
計	234	242	264	360

5 入所者の衛生管理は、施設にとって日常的な基本事項であり、定例の衛生委員会により重点項目を定め、常時職員に対策を徹底し、実効を期すことができました。これからも次の方策で衛生的な施設の維持に努めます。

① インフルエンザ、ノロウイルス胃腸炎等の感染症に対しては常時、苑内への侵入の防止に努める。

② 協力医療機関との連携による健康管理を充実し、訪問歯科診療による口腔ケアを実施する。

6 所定の火災の予防、初期消火、避難訓練、救出、その他地震対策を含めた避難訓練及び消火訓練を定期的実施しました。入所者の安全管理を保つため、これ等の訓練をより実践的なものにしていきます。

7 四季折々の催し、各入所者様の誕生会など、入所者にとって生活の節目になる行事については、家族、職員の提案などをとり容れ、より充実したものになるよう努めました。また、家族会の定期的な開催及び家族に対する定期的アンケートの実施などにより、家族との連絡調整を充実しています。

8 地域に開かれた施設運営を目指し、下記の事項をより具体的に行い地域とともにある施設であるように努めています。

- ① 入所者、家族、地域社会等からのサービス及び個人情報に関し要望、提言及び苦情があるときには、苦情処理委員会のもとで解決する。
- ② 入所者、家族、地域社会等との意思疎通を図るとともに、情報公開を行うための重要な手段として、毎月、広報「照古苑」を発行し、「照古苑ホームページ」については、照古苑事業全体の状況がわかるようできるだけ詳しい情報を適時適切に提供する。
- ③ ボランティア、体験実習生などの積極的な受入れにより、地域との交流を深めるとともに、照古苑に対する一層の理解を得られるようにする。特に、ボランティアについては、苑外情報の入手源として入所者の社会参加の一環と位置付けて幅広い推進を図る。

#### IV 照古苑ショートステイ

1日当りの利用人数と平均介護度

利用者	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
利用人数／日	14.0	14.6	14.4	14.4	13.4	15.7
平均介護度	2.6	2.6	2.6	2.4	2.3	2.0

##### 1 職員体制及びサービスの充実

在宅部としてデイサービスとの兼務の職員を配置し、日中は5人体制、夜勤はショート専属で1名配置し、利用者の状態把握、状態に合わせた適切なケア、サービスの充実に努めました。

##### 2 利用実績

平成28年度から、長期の利用者の機能低下を防止するために週2回の理学療法士によるリハビリを開始し、サービス向上に努めました。

平成28年度の平均利用者数は、15.7人と前年度より大きく2.3人増加しました。

昨年4月の熊本地震により、在宅ケアが困難となられた方々の利用ニーズが高まったことが要因と考えられ、特に4月～10月の期間は1日あたりの平均が16～17名と利用者数が大きく伸びました。

その後は地震の影響も落ち着き、今後は、新規の利用者を獲得すべく、居宅介護支援



事業所などとの連携を密接に図っていきます。

#### V-1 照古苑デイサービスセンター

1日当りの利用人数と平均介護度

利用者	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
利用人数／日	31.3	35.2	35.7	37.0	38.0	36.8
平均介護度	1.6	1.4	1.4	1.4	1.3	1.6

平成28年度の平均利用人数はやや減少しています。要因としては4月の熊本地震の影響が大きく、4月の平均利用者数は30.6人まで落ち込みました。その後も自宅の損壊により、施設入所や他市への転出などもあり、利用者数が伸び悩みました。

リハビリ体制は、常勤の理学療法士2名により、利用者個々の状態に合わせた機能向上訓練、看護師による生活動作訓練に分けて提供しています。今後も利用者一人一人のニーズを捉え満足していただけるサービスを提供できるよう職員の質の向上を図ってまいります。

また、平成28年10月には要支援者の宇土市介護予防・日常生活支援総合事業が開始されました。平成29年4月からは本格的な要支援者のサービス利用見直しが始まり、認定更新ごとに総合事業への移行が始まり、現行のデイサービスの要支援者は減少していくこととなります。現在、延べ利用者数の20%を占めている要支援者が、平成29年度末には5%以下になることが予想されます。通所介護事業としては厳しい状況となりますが、定員規模の見直しも視野に入れながら、要介護者の利用獲得に努めます。

#### V-2 ウェルネス照古苑いきいき道場（宇土市介護予防・日常生活支援総合事業）

##### (1) サービスA（火・木・土）

1日当りの利用人数

利用者区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業対象者	0	—	—	—	—
要支援1	0	—	—	—	—
要支援2	0	—	—	—	—

##### (2) サービスC（月・水・金）

1日当りの利用人数

利用者区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度

事業対象者	1. 6	—	—	—	—
要支援1	0. 4	—	—	—	—
要支援2	0. 2	—	—	—	—

平成28年10月から宇土市介護予防・日常生活支援総合事業が開始されました。照古苑ではA型（定員29名）とC型（定員19名）の事業を開設しましたが、平成28年度中のA型の利用はありませんでした。平成29年度からは要支援の利用者の介護保険の更新ごとに見直し・評価が行われるため、段階的に利用者が増加していくと思われます。

C型においては10月からの半年間で11名の申し込み・利用がありました。C型は短期集中のリハビリ特化型となっており、宇土市内には3か所の開設がありました。短期間（4カ月～6カ月）で卒業（利用終了）することとなっており、卒業後は状態に応じて、地域のボランティアとしての活動やA型に移行しサービスを続けて受けることが想定されます。

A型・C型共に介護予防の観点から、在宅で継続して生活を継続できるようリハビリを含んだサービス提供を行います。また、軽度の要介護者のサービスの減少による不安解消のため、A型と合わせ自費のデイサービスを開始します。

今後は、軽度の要介護者の在宅支援として、地域に根差した事業所となるよう質の向上を図ってまいります。

## VI 照古苑居宅介護支援事業所

### 活動実績の推移

年 度	登録者数	支援実績件数
平成28年度	125 (9)	1,263 (143)
平成27年度	94 (3)	1,012 (47)
平成26年度	122 (22)	1,047 (266)
平成25年度	111 (24)	942 (291)
平成24年度	111 (21)	943 (259)
平成23年度	110 (23)	893 (253)
平成22年度	102 (20)	849 (204)

平成 21 年度	94 (17)	789 (207)
平成 20 年度	96 (18)	752 (219)

(註) 括弧内は、平成 18 年度から開始された介護予防事業の受託件数

当事業所は、4名の介護支援専門員（主任介護専門員を含む）を配置して、利用者、家族の立場を理解し、十分なアセスメントや意向調査に基づいた、きめ細かなケアプラン作成に努めました。

また、地域包括支援センターと同じ建物内にあることから、日々の相談業務において、迅速な対応調整等の連携を図りました。

介護保険サービス事業所や行政、医療機関等関係機関とも連携し、利用者の要望に対応しています。

その結果、支援実績件数は開設時から年々増加しています。

今後も、利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じて、自立した日常生活を営めるように、地域に根差した質の高い効果的な居宅サービスのケアプランを作成し、管理、実践にあたってまいります。

## VII 宇土市地域包括支援センター

当センターは、公正・中立の立場から、基本4事業に加え、二つの受託事業、さらに平成28年度から新たに新規4事業を受託し、地域支援体制の構築に努めました。

### (1) 基本4事業

- ① 介護予防ケアマネジメント事業
- ② 総合相談支援事業
- ③ 権利擁護事業
- ④ 包括的・継続的ケアマネジメント事業

### (2) 受託事業

- ⑤ 二次予防対象者把握事業（平成28年4～9月）
- ⑥ 生活支援コーディネーター業務（平成28年1月～）

### (3) 新規4事業

- ⑦ 地域ケア会議推進事業
- ⑧ 認知症地域支援・ケア向上推進事業
- ⑨ 認知症サポーター養成事業
- ⑩ 認知症高齢者見守り事業

### (4) 指定介護予防事業（要支援1・2のケアマネジメント業務）

## 1 職員配置

平成28年度末時点で、保健師(2人)、看護師(1人)、社会福祉士(3人)、主任介護支援専門員(3人)、認知症支援推進員(社会福祉士1人)、生活支援コーディネーター(社会福祉士1名)、事務員(2人)、計13人を配置し、専門性を強化し運営しました。

## 2 活動実績

### (1) 熊本地震対応

平成28年度は4月に起きた熊本地震、6月の水害では、市及び医師会、社会福祉協議会等と連携し、要援護高齢者の支援対応に努めました。

- ・ 市対策本部会議参加（4/21～5/17）
- ・ 協力機関話合（4/26, 5/6）
- ・ 医療チーム会議参加、連携
- ・ 民生委員会議参加（意見交換、振り返り）  
（6/11 東部、6/14 中央、6/24 西部）
- ・ 一次予防事業開催公民館の実態把握、情報収集
- ・ 宇土市介護支援専門員連絡会（5/31 地震後の状況、動きなど意見交換）
- ・ 地域支え合い支援センター打合せ（9/27）

### (2) 基本4事業

#### ① 介護予防マネジメント

- ・ 各保険証交付式による啓発、把握  
介護保険証  
高齢受給者証  
後期高齢者被保険者証  
} 1回/毎月
- ・ 二次予防事業（1クール）  
6月～8月（計29名、中央19名、西部10名）
- ・ 予防マップ打合せ 8/10, 9/15

#### ② 総合相談支援事業

#### ③ 権利擁護事業

#### ④ 包括的・継続的ケアマネジメント事業

上記3事業では、地域の民生委員や各種団体を対象に幅広く啓発を行い、また「住みよい地域づくり研修会」において「地域支えあい」「住民主体のコミュニティ形成」の大切さを伝えました。

支援困難事例では、チームで情報共有し支援対応しました。個別ケース会議（年延べ24件）を主催し、多数の関係機関と連携・協力体制を図り、課題解決、安心安全な暮らしに向け支援を行いました。

### (3) 受託事業

生活支援コーディネーター事業では、10月から介護予防・日常生活総合支援事業が開始され、移行にむけた準備調整、居宅介護支援事業所への説明会を実施しました。

また、地域資源の把握、ニーズとのマッチングを行いました。

### (4) 新規4事業

#### ⑦ 地域ケア会議推進事業

地域包括ケア体制構築の一環として地域ケア会議を開催。走潟校区社協、西部地区、通所サービス利用者等の課題を共有する会議を年3回行い、様々な方が「自分ができる事が何か」を考える機会となりました。

- ⑧ 認知症地域支援・ケア向上推進事業
- ⑨ 認知症サポーター養成事業
- ⑩ 認知症高齢者見守り事業

上記認知症関連の3事業では、市民向けフォーラムの開催（認知症疾患医療センター及び市の共催）や認知症高齢者SOSネットワークの啓発、初期集中支援チーム設置準備などを重ねてきました。

(5) 指定介護予防事業

月平均の請求実績が当センターで232件、居宅介護支援事業所への委託が239件、年間合計件数は6,018件でした。

(6) 総括

平成28年度の包括支援センター全体の相談対応件数は、表1の活動実績を見ると、7,256件でした。これは、前年度より371件、5.4%と大きく増加しました。そのうち、初回相談が275件、月平均23件が初回相談という状況であり、包括支援センターに求められる役割機能も増え、地域に定着してきていることがうかがえます。

平成18年に市から委託され11年が経過しましたが、高齢者世帯の増加、核家族化、若い世代の就労問題など暮らしやニーズも多様化しています。そういった中で、包括支援センターが受ける相談も増加・多様化し、より機能強化、質の向上が求められていることを実感しています。

今後は、「地域包括ケア」を念頭に、「地域の中でその人らしくできる限り生活し続け、また、地域資源を有効に活用」していくため、地域包括支援センターとしてもニーズに応じた適切な支援調整を行い、「予防」や「地域見守り」の意識づくり（啓発）に行政、関係機関と連携し支援に努めてまいります。

表1 活動実績

事業	平成27年度				平成28年度			
	電話	来所	訪問	合計	電話	来所	訪問	合計
合計	1,581	220	5,084	6,885	2,204	345	4,707	7,256

VIII 照古苑ひまわりホーム（地域密着型指定介護老人福祉施設）

1 入退居関係

入居者の状況

入居者	平成27年3月末現在			平成28年3月末現在			平成29年3月末現在		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
人員	5	24	29	3	26	29	4	25	29
年齢	78.4	88.0	86.3	83.7	89.6	89	86.3	91.1	90.4

介護度	3.4	3.4	3.4	4	3.6	3.7	3.5	3.7	3.7
在籍期間	409日	394日	396日	617日	613日	610日	782日	802日	800日

#### 入居前の居所

入居前居所	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	人数	平均年齢	平均介護度	人数	平均年齢	平均介護度	人数	平均年齢	平均介護度
在宅・有料老人ホーム	6	89.3	3.2	6	89.8	3.8	1	91.0	3.0
病院	0	0	0	1	83.0	3.0	0	0	0
介護保険施設	3	84.2	4.3	1	90.0	3.0	6	88.3	3.5
計	9	86.7	3.7	8	87.6	3.3	7	88.7	3.4

平成28年度の入居稼働率は99.36%であり、平成27年度に比べ入居稼働率がアップしました。理由として熊本地震により1人の方が特例入居されたことにより5月と6月に100%を超える稼働率になったことが考えられます。

また、長期入院加療による空床の期間も少なかったことも理由の一つです。今後も入居者の日頃の健康管理に十分注意し、些細な変化も見落とさず、空床期間の短縮に努めてまいります。

平成27年度から、原則、要介護3以上の方が入居対象となったため、要介護1及び2の方の受け入れについては、特例入居対象となり、市町村との連携を図り、公平性をもって検討していくことになりましたが、対象となる入居はありませんでした。

#### 退居事由の状況

退居事由	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	人員	在籍日数	人員	在籍日数	人員	在籍日数
入院退居	5	311	5	705	2	542
入院死亡	2	349	0	0	1	1134
在苑死亡	2	261	2	229	2	1045
在宅、有料老人ホーム他	1	181	1	395	2	401
計	10	296	8	548	7	730

平成28年度の退居事由の状況では、人工透析後の血圧低下や腎臓造設による医療管理が必要となられたため2人の方が退居となりました。他の退居理由としては、看取りとなられ苑内での死亡が1人、経済的な理由により他の施設へ転居された方が1人、熊本地震により特例入居となられた方が仮設住宅への入居により退居となられた方が1人でした。

## 2 安全対策

事故件数

事故	平成26年度	平成27年度	平成28年度
転倒	10	8	12
転落	15	3	5
〈骨折〉	〈1〉	〈1〉	〈1〉
外傷	21	3	25
薬関係	1	4	5
食事関係	0	1	0
離接	1	0	2
医療関係	0	0	0
その他	9	3	1
インシデント	0	10	3
市町村報告	1	1	2
計	57	22	50

※ 介護事故の計には、〈骨折〉、インシデント、市町村報告の件数はカウントされておりません。

事故件数は、前年度に比べ増加してしまう結果となりました。外傷（表皮剥離）の事故が多く報告されています。車椅子等への移乗介助時には安全な移乗介助に努め、夏場のように衣類が軽装になる場合でもアームカバー等を活用し外傷予防に努めます。併せて転倒や転落事故防止のために引き続き職員の見守り強化、介護事故への予防改善を周知徹底します。

## IX 照古苑ひまわりホーム短期宿泊事業（ショートステイ）

1日当りの利用人数と平均介護度

利用者	平成26年度	平成27年度	平成28年度

利用者／日	4.1	6.4	8.4
介護度	2.6	1.9	2.1

平成28年度の平均稼働率は84%でした。昨年4月の熊本地震発生直後より在宅での生活が困難な高齢者が増加したため、ケアマネからショート利用の相談が増えました。また新規利用から定期利用への定着もあり目標稼働率であった70%を達成しました。平成29年度も平均稼働率70%以上を目標として、収支向上の安定を図ります。

利用者が望む在宅生活の継続と、ご本人の意思、人格を尊重し、可能な限り自立した日常生活が継続できるよう支援します。またご家族の身体的及び精神的負担の軽減を図られるように援助します。

## X 照古苑ひまわりホームデイサービス

### 1日当りの利用人数と平均介護度

利用者	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者／日	6.5	10.6	13.9
介護度	1.75	1.76	1.49

平成28年度は、利用定員20人に対して平均利用が13.9人であり、稼働率69.5%であった。年間稼働率は目標数値の80%に届かなかったが、平成29年3月には82.4%に達成した。平成29年度から定員20人を25人に変更し、年度目標である平均稼働率80%を目指す。

平成29年4月から要支援者のサービス利用見直しが始まり、認定更新ごとに宇土市介護予防・日常生活支援総合事業への移行が始まります。事業内容として、介護予防の観点から、在宅生活が今後も継続できるよう自らサービス内容を選択し、リハビリについても個々に応じたサービスを提供します。

## XI たんぽぽ保育園

### 1 保育所の運営

#### (1) 定員

110人

#### (2) 学年別・月別利用児童数

(各月初日現在)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	8	9	11	12	12	12	12	12	12	13	13	13	139



1歳児	21	21	21	21	21	21	21	21	21	19	19	19	246
2歳児	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	276
3歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
4歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
5歳児	23	23	23	24	24	24	24	24	24	24	24	24	285
計	115	116	118	120	120	120	120	120	120	119	119	119	1,426

## 2 職員

### (1) 職員数

年度	4月1日時点		3月31日時点	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
平成27年度	13人	13人	13人	13人
平成28年度	13人	14人	13人	14人

### (2) 職員配置

職名	正規職員	非正規職員	計
園長	1		1人
副園長	1		1人
主任保育士	1		1人
副主任保育士	1		1人
保育士	6	12	18人
看護師		1	1人
栄養士	1		1人
調理員	1	1	2人
事務員	1		1人

## 3 行事等の開催

### 主な行事等の開催状況

実施年月日		行事名
4月	2日	入園式
	23日	お見知り遠足（地震により中止）
5月	18日	園医健康診断
	21日	未満児保育参加

	28日	以上児保育参観
6月	1日	歯科検診
	28日	プール開き
7月	4日	七夕まつり
	5日	花園小学校七夕まつり交流会
	15日	年長児お泊まり保育（15・16日）
8月	5日	心療病院合同盆踊り
	8日	花園小学校交流会
	9日	カスペル人形劇観覧
9月	15日	園児検尿検査
10月	1日	運動会
	8日	照古苑祭以上児参加
	20日	年長児車両基地見学
	27日	園医健康診断
11月	7日	花園小学校花植交流会
	15日	花園小学校おもちゃ遊び交流会
12月	3日	発表会
	15日	餅つき交流会
	22日	クリスマス会
1月	12日	餅やき
	21日	初釜
2月	2日	パレット人形劇観覧
	3日	節分
	4日	未満児保育参加・以上児保育参観
	17日	花園小学校1日入学
3月	3日	おひなまつり
	10日	お別れ遠足
	18日	29年度入園説明会
	25日	卒園式

#### 4 地域連携

##### 地域との関わりの状況

実施月	地域との関わり
5月	子育て支援開催
	ぬくもり・ひまわりホーム訪問
6月	子育て支援開催
	ぬくもり・ひまわりホーム訪問
7月	松橋高校2年生 インターシップ 3日間

	子育て支援開催
	ぬくもり・ひまわりホーム訪問
8月	心療病院合同盆踊り
	子育て支援の親子人形劇観覧
	ぬくもり・ひまわりホーム訪問
9月	運動会リハーサルにぬくもり・ひまわりホームの方をお招きする
10月	照古苑祭へ年長児 えいさ踊り披露
	オペラ歌手コンサート ぬくもりさん招待
	八代農業高校生 給食調理体験実習
11月	子育て支援開催
	ぬくもり・ひまわりホーム訪問
12月	初釜練習時ぬくもり・ひまわりご招待
	子育て支援開催
	餅つき 地域老人会ご招待
1月	ぬくもり・ひまわりホームの方初釜ご招待
2月	子育て支援親子 人形劇観覧ご招待
	ぬくもり・ひまわりホーム訪問
3月	子育て支援開催
	ぬくもり・ひまわりホーム訪問

## 5 災害対策

### 避難訓練の状況

実施月	避難訓練		
4月	災害時の説明・ベルの音実施	10月	火災避難訓練・消防訓練
5月	火災避難訓練	11月	地震・火災訓練
6月	火災避難訓練・不審者訓練	12月	火災避難訓練
7月	火災避難訓練	1月	火災避難訓練
8月	火災避難訓練・不審者訓練	2月	地震訓練
9月	火災避難訓練	3月	地震・津波訓練

## 6 人材育成

職員個人のスキルアップ及び保育園全体の組織力向上等を目的として、園内研修を実施するとともに、各種園外での研修に積極的に参加した。

### (1) 園内研修の状況

実施月	園内研修名
4月	全職員 ・ 保育課程 ・ 危機管理マニュアル



1年生	16	16	16	16	16	16	16	16	16	15	15	15	189
2年生	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	20	20	250
3年生	15	15	15	15	14	14	14	14	14	12	12	12	166
4年生	4	4	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	53
5年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	56	56	57	57	56	56	56	55	55	52	51	51	658

## 2 職員

### 指導員数

年度	4月1日時点		3月31日時点	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
平成27年度	人	4人	人	4人
平成28年度	人	4人	人	4人

## 3 行事等の開催

### (1) 主な行事等の開催状況

実施年月日		行事・遊び
4月	2日	入所式
6月	24日	復興支援 福岡劇団来演
	28日	七夕まつり会
7月	14日	夏休み前保護者会懇談会
	25日	うちわ制作
	26日	プール開き
8月	4日	交通教室
	5日	心療病院合同盆踊り
	8日	絵手紙教室
	9日	カスペル人形劇観覧
	19日	バス旅行 (豊野少年自然の家・かじかプール)
	26日	お楽しみビンゴ大会
10月	1日	たんぼぼ保育園運動会
	26日	ハロウィンパーティー
12月	26日	クリスマス会 ・読み聞かせ
1月	4日	松山神社初詣
3月	17日	学童入所説明会
	25日	退所式
	28日	お別れ会 (カレー会)

(2) その他の行事

ボランティアの方の読み聞かせ	5月・6月・7月・9月・10月・11月・12月・1月・2月・3月
火災避難訓練	4月・5月・8月・1月 (4回)
英語教室	4月・3月を除く各月
茶の湯	4月・5月・8月・11月・2月・3月を除く月